



答志小学校児童が市役所見学

10月5日、答志小学校の3・4年生児童が社会見学で市役所を訪れました。この社会見学は、住民の暮らしやまちづくりを支える市役所の仕事の内容や役割を知ることで、行政の存在を身近に感じ、自分の住むまちのことに興味を持つことを目的に行われました。

児童らは庁舎内の各部署や議会を巡り、最後に訪れた市長室で市長に「市役所ではどんな仕事がありますか」「市長はどんなことをしていますか」と質問し、熱心に回答を聞いていました。



今年も10月1日に「答志島トロさわら宣言」がされました。『答志島トロさわら』は、鳥羽のサワラの魚価向上と「鳥羽ざかな」の魅力付けを目指して、鳥羽市・漁業と観光の連携促進協議会がブランド化の検討を進めてきたもので、基準を満たしたサワラを『答志島トロさわら』として平成30年度から流通を開始しました。

宣言後の初水揚げがあった10月3日には263本中153本が基準を満たしており、今後も多くの方に鳥羽の『答志島トロさわら』を楽しんでもらいたい、と担当者らは期待を寄せていました。

10月1日『答志島トロさわら宣言』！



成年後見サポートセンターぬくもり開所

10月1日、鳥羽市成年後見サポートセンターぬくもりが鳥羽市保健福祉センターひだまり内に設置されたことを受け、開設式が行われました。

センターでは、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより、自分一人では契約や財産の管理などが困難なかたの権利を守るとともに、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、成年後見制度に関する相談支援や情報提供を行います。



地震体験車、離島へ渡る

10月15日、菅島に地震体験車が派遣され、菅島保育所・小学校児童らや地域住民のかたがたが地震体験をしました。

この活動は、防災減災教育推進を目的として、離島に地震体験車を派遣することで、児童生徒と地域住民がともに学ぶ機会を設けています。

体験した児童らは「思っていたよりすごい揺れで驚いた。実際に地震が来た時に落ち着いて行動したい」と感想を話してくれました。

地震体験車は今後、11月2日(火)に答志島和具定期船待合所、22日(月)に神島開発総合センターへ派遣される予定です。